

今回の報道について経緯とお願い

ナビット代表の福井泰代でございます。この度は新聞報道の件で大変お騒がせいたしましたして誠に申し訳ございません。

この度の報道では、コスメティックサイトへの特定の化粧品に対する、当社のモニターに対する投稿の依頼方法が問題視されましたが、当社としましては、実際に化粧品のサンプルをモニターに送付し、実際に使用して頂いた上での投稿をお願いしたものでありますし、且つ、特定の投稿内容を具体的に指示したものではありませんため、やらせであるとの認識は全く有していませんでしたが、いずれにしましても、皆様に、今回の件で多大なる御心配と御迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

私自身、社会的責任の重さを痛感し、今後はこのような事態の再発を回避すべく広い意味でのコンプライアンスを徹底していきたいと考えております。

当社の責任を重く受け止めた上で、大変恐縮でございますが、二点ほど、問題提起と、御理解を賜りたい件がございます。

先般問題となりました飲食店に関する投稿サイトの件では、実際に店に行っていないにもかかわらず、想像のみに依拠して無責任な投稿を行うことが消費者に誤った認識を与える危険性が高い点が問題視されましたが、実際に行ったことのある店であれば良いのか、モニターに報酬を与えることが問題なのか、モニターに指示を一切与えさえないのであれば良いのか、評点システムが無いサイトへの投稿であれば問題は無いのか、そもそも投稿サイトは業者のためにあるのか消費者のためにあるのか等々、投稿サイトについての「ガイドライン」自体が存在しないため、現場だけでなく事業者様、在宅ワーカーの皆さんも、大変混乱をしている状況でございます。

当社としましては、この点に関する公的ガイドラインを制定する場が設けられるのであれば、積極的に参加し現場サイドとしてできる限りの協力を惜しまない所存でございます。

二点目は、当社の運営サイトである「Sohos-Style」というサイトの件でございます。同サイトは、全国の主婦の方に在宅ワークのお仕事を提供しているサイトでございます。現在 46,500 人の在宅ワーカーが登録しており、大半は小さなお子様をかかえる主婦の皆様です。こうした主婦の皆様が、子育てをしながら仕事をするのには大変苦勞が多いわけですが、一番大切なのは御家族の理解です。

これまで、ニーズはあったものの在宅ワーカー向けの利便性の高いサイトがありませんでした。在宅ワーカー向けのサイトの中で、元々鉄道会社様が顧客だった当社は、3A（安全、安心、安定）をサイトポリシーとして、安心してご主人に「仕事をしてもいいよ。」と言ってもらえるお仕事を提供すべくサイト運営を行ってまいりました。

現在、地域間の経済格差は広がる一方で、地方に住んでいる主婦の方々は「卒業しても就職先がない。」「仕事がありませんか。」と毎日電話でお問い合わせが入ります。実際に今回の震災で被害を受けた方で今回のようなモニター業務を引き受けて頂いた方も沢山いらっしゃいます。そのような方々は皆さん、小さなお子様を抱えたお母様方です。

当社はこのような頑張ってるお母様方を、お仕事の提供という形で応援し続けることを社会的使命であると認識し、今後も応援し続けたいと考えております。

今回の件で、当社がこのサイトポリシーである「3A」を大きく裏切ってしまったことは、お詫びのしようもないことですが、実際にこのように、健気に一生懸命生きている方々を応援し、幸せにすることこそがインターネットの本来の役割なのではないかと強く感じております。

そういった意味で、決して一時的なムーブメントではなく、インターネットが社会に与える影響力、ガイドラインの整備、地域格差の問題、などの様々な点を御検討いただき、今後とも、多くのお母様方や、奥様方のお仕事を、温かい目で見守って頂きたいと心よりお願い申し上げます。

平成 24 年 1 月 21 日（土）
株式会社 ナビット
代表取締役社長 福井泰代

・ Sohosh-Style

<http://www.sohos-style.jp/>

・ Sohosh-Style 「今月の SOHO LIFE」

<http://www.sohos-style.com/column/mvp.html>